

洋すぽ

無料

ひろば公園

に見た洋光台の工作文化とは

2面

遊び場を

自分たちで

守る

2面

洋光台でミニ四駆

イベント2月 再び開催へ



マシンの整備・開発に励むスタッフ

来る2月22日(日)より26日(木)までの5日間、洋光台駅前サンモール商店街「CCラボ」にて、ミニ四駆イベント「みによん！」が開催されることが明らかになった。昨年10月に同会場で実施された第1回では4日間でのべ約170名が訪れたこのイベントは、CCラボ内にミニ四駆用サ-

キットを常設し、無料で走行体験や競技などを楽しめるというもの。前回好評だった作品展「コンクール・デレガンス」も引き続き行われる。走行競技会(レース大会)については、スケジュールや人手の関係でどの程度の規模で行うかが現時点では未定としながらも、何らかの形で実施はしたい、公式サイト等で最新情報を確認してほしいとしている。

CCラボ初!? 参加無料でもスイカ使えます

独自の整備を行った車両改造用部品などの販売も予定。SucciaやPASMOなどの電子マネーによる決済にも対応するべく、ヤマトフィナンシャル(株)のシステムを導入する準備を進めている。「未確認ではあるが『CCラボ初』『洋光台地域住民発のイベントとしては初』などではないだろうか。こうしたイベントで電子マネーが使えるという事態もまた面白がってほしい。ヤマトの諸君に感謝している」とYMF代表・I氏は言う。

昨年11月、NHK総合テレビのドキュメンタリー番組「につぼん紀行」にて、「男たちの居場所」のサブタイトルで秋田県井川町のミニ四駆サーキットと、そこに集うさまざまな人々の交流が取り上げられた。事前情報からミニ四駆愛好家

求められる「自分の居場所」

などの間で注目されていた番組だったが、放送中に本紙編集部が視聴者らのツイッター等での反応をリアルタイムで拾ってみると、「明るい雰囲気の情報番組的な内容が期待していたので面食らった。見続けていこうに切なくなつた」などといった感想が多く見られた。洋光台駆動力学研究所の代表・I氏は「こうした感想を持った人たちは、つまりこういった形をした『自分の居場所』を社会の中に切望している当事者、あるいはその予備軍なのではないかと考えられる」と分析。

1982年から(株)タミヤが展開している、単3形電池2本で駆動するミニカー。基本的には組み立てキットとして販売。1988年より全国規模で公式戦が開催されるようになり、現在は「手のひらサイズのモータースポーツ」「世界最小のモータースポーツ」とも言われる。2008年以降、第3次ブームが続いているとされる。

自分たちの活動においても「居場所」としての機能を充実させ、このような人々の受け皿を提供していきたいとの考えを示した。

洋光台すぽおつ
2015年2月14日発行

洋光台駆動力学研究所
info@mini4wd.yokodai.yokohama
http://mini4wd.yokodai.yokohama/
Twitter: @YokodaiMini4wd

「洋すぽ」は、洋光台駅前SHOP27・1階「いしだ園」などで掲示・配布しています。



http://ishidaen.com/

ひろば公園に洋光台の工作文化を見た

―昭和TVアニメの話題も―

1月10日、ひろば公園（洋光台四丁目）にて、洋光台青少年指導員協議会が主催するどんど焼きおよび凧揚げが行われた。来場者にはお汁粉がふるまわれたほか、キーホルダー工作コーナーが設置された。



キーホルダーを作る児童たち

工作コーナーでは木製キーホルダーのキットに着色し組み立てを行う体験が無料ででき、参加した児童らは夢中で工作に励んだ。保護者たちにも好評で「自分は手芸を趣味でやっている。自分でモノを作る行為を楽しむことが若い世代に受け継がれていくのは嬉しい」という高齢者の声もあった。また保護者たちの間では、ふとした

先月、NHK総合テレビでドキュメンタリー特番「知られざるコミケの素顔」が放送された。40年前に始まり、現在では来場者60万人を集め数億円の金が動くといわれる日本最大の屋内イベント「コミックマーケット」（通称コミケ）――番組では、このコミケに参加し、社会の中に生きる者として創作・表現活動

に取り組む人々の姿や、参加者たちの自治・相互協力により法令遵守や安全確保に努めるべく整備された運営体制などが映し出された。いわゆるオタク文化に詳しく、みずからコミケ出展経験があるというYMF代表・I氏は番組を視聴し、「大手メディアがこのような切り口でコミケを内側から全国的に報道

自分たちの遊び場を守る

したのは初めてではないだろうか。クルルジャパンという考え方ができるまで、コミケはマスメディアには『得体の知れない、理解しがたい催し』『ネクラで気持ち悪い人たちの集会』などといった扱いをされ、一時期には『連続幼女殺人犯の同類・予備軍どものたまり場』として報じられることさえあった。また現在で

も、児童ポルノ流通の温床なのではないかという印象を持たれがちだ。しかしコミケにはかねてから『お客様』は存在しない、運営者も出展者も一般来場者もひとしく『参加者』であるといった理念があり、また数度の開催地変更を余儀なくされながらも参加者らの努力でイベントを守り通してきた歴史がある。

自分たちの遊び場は自分たちで守らなければならぬ。また、番組を見た家族の自分を見る目が変わり、趣味に理解を示してくれるようになった、といった事例がいくつか耳に入ってきており感慨深い。我々も自分たちの遊び場を守っていきけるよう、取り組みを続けていきたい」とコメントした。

ことからことから昭和期のアニメなどの話題で雑談が盛り上がる一幕もあった。YMF代表・I氏は「昭和アニメの話題で盛り上がる住民が洋光台に実在することが確認できた。このような住民は地域に少なからず存在するはずだと考えているが、この話題で盛り上がることでできる機会には乏しいというのが現状ではないだろうか。昭和

和アニメに限らずさまざまな、語れる場に乏しいテーマについて、語らいの場を地域に作っていきたいものだ」と語った。

あおぞら学童 秋祭り開催さる

ひろば公園では昨年11月9日、あおぞら学童クラブ恒例の秋まつりが開催された。会場では軽食屋台やミニゲームコーナーが設けられたほか、バザーも行われ

た。バザーにはガンプラ（アニメ「機動戦士ガンダム」シリーズ関連のプラスチックモデルの出品もあり本紙記者の目を引いたほか、ミニゲームの景品にも2点のガンプラが見られた。YMF代表・I氏は「目をつけていたガンプラが児童の手に渡ってしまい、個人的には無念。しかし行くべきところに行ったらとも言えよう」と潔さを見せた。

洋光台すぽおつ
2015年2月14日発行

洋光台駆動力学研究所
info@mini4wd.yokodai.yokohama
http://mini4wd.yokodai.yokohama/
Twitter: @YokodaiMini4wd

「洋すぽ」は、洋光台駅前SHOP27・1階
「いしだ園」などで掲示・配布しています。



http://ishidaen.com/